

中部大学 理学教室

Colloquium

談話会

中部大学理学教室では、教室内外における自然科学研究・教育の最前線を専門外の方にも分かりやすく紹介し、語り合える場を、企画・提供しております。参加は自由です。学生さんをはじめ、学内・学外の多くの皆様のご参加をお待ちしております。

入場無料 !! 特に参加予約等は要りません。初めての方も、まずは雰囲気味わってみませんか?

2010年2月17日 中部大学理学教室

～次回(第17回講演)のご案内～

日時: 2010年3月25日(木) 16:30～17:30

場所: 16号館8階 多目的ホール

テーマ:

堀川直顕教授 最終講義 陽子スピンをそろえる

中部大学理学教室 教授 堀川 直顕

電気を帯びた陽子は「スピン」という「自転」の性質をあらわす物理量(自己角運動量という)をもち、「磁石」の性質も現します。素粒子・原子核相互作用では、電気間の力の他にこの最小の磁石の向きの違いで粒子間に働く力に差がでてきます。この磁気力の性質を調べるためには「スピン」を揃えて衝突実験をする必要があります。また、陽子スピン発生理由を明かすためにも物質中のスピンをそろえる事が必要になります。今回は陽子スピンの向きを揃える方法と、向きをそろえた陽子や原子核がどのように使われているかについて紹介します。

詳しくは、理学教室ホームページ: <http://pauli.isc.chubu.ac.jp/~sci/> から、「コロキウム」のページへGO!

お問い合わせは: 中部大学理学教室 工藤 健 (earth@isc.chubu.ac.jp)